
今日 の 力

2025年6月9日 ～ 6月15日

翻訳 阿部 やよい

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御 茶 の 水 キ リ ス ト の 教 会

6月9日（月）

小 羊 こ そ ふ さ わ し い 方

聖書朗読 ヨハネの黙示録 5：1～12

彼らは大声で言った。「ほふられた小羊は、力と、富と、知恵と、勢いと、誉れと、栄光と、賛美を受けるにふさわしい方です。 」 黙示録 5：12

ロバート・ファラー・ケイポン（編注：アメリカ聖公会の司祭・作家・シェフ 1925-2013）は、私たちが神について言葉で説明しようとするのは、牡蠣がバレリーナについて説明しようとしているようなものと言いました。ヨハネの黙示録で、全能の神の御座の間をのぞくことが許されたヨハネが目にしたものは、言葉では到底言い表せないものでした。

ヨハネは、神のお告げが書かれている巻物を手に持った主なる神を見ました。しかし、その巻物は誰も解けないよう封印されており、その封印を解いて、その内容を世の人々に知らせるのにふさわしい者がそこには見当たりませんでした。神の啓示はここで終わってしまうのでしょうか。「いいえ！」御座の周りにいた長老のひとりが言いました。「ユダ族から出た獅子だ、彼こそがふさわしい、彼なら封印を解くことができる！」そこで驚くべきことが起きました。御座の正面に立って巻物の封印を解こうとしていたのは、堂々とした獅子ではなく、慎ましい小羊（イエス様）だったのです。小羊はほふられ、罪のために捧げられていたのですが、この小羊は生きていたのです！

ヨハネが私たちのために描写しようとしたのは見事な逆説でした。それは、私たちの福音であり、私たちの主である方は勝利した犠牲者であり、謙虚な征服者であり、一度ほふられたが、今は生きており、そして永遠の救い主であるということです。ですから、天に集められた会衆一同と共に声をあげましょう。「小羊こそふさわしい方！」つまり、私たちを救って下さったお方は雄々しいお方ではなく、弱弱しく見える子羊イエス様であり、そのお方が十字架につけられ、よみがえられたために、私たちの罪は全て赦されたのです。そのお方にこそ、私たちは全てをお委ねして生きていきましょう。

讃美歌 164 こひつじをば

祈 り お父様、自己犠牲の愛によってふさわしい方であることをお示しになった方を通して、大胆に恵みの御座に近づけることに感謝いたします。イエス様を通して。アーメン。

ワシントン州ベリンガム／ケン・ダラム

6月10日（火）

私　　ち　　は　　主　　の　　も　　の　　だ　　か　　ら

聖書朗読　コリント人への手紙　第二　１２：９

しかし、主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、私の力は、弱さのうちに完全に現れるからである」と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。

コリントⅡ　１２：９

私の父は学生時代、陸上界のスターでした。私がリレーチームに入った時、聞こえてくる父の伝説に圧倒されました。父が私の大会を見に来た時、私はとても上ってしまいました。私は父を誇らしい気持ちにさせたかったのです。

スタートを告げるピストルが鳴り、私は一生懸命走りました。でも、勝てませんでした。惨敗です。息が上がったままの私は、父を失望させてしまったと打ちひしがれていました。しかし、トラックで待っていた父を見ると、父の顔には失望の色はなく、むしろ満面の笑みで私に言いました。「やあ、前の走者にかなり迫っていたの知ってた？　頑張ったね！」彼のこの言葉は私を変えました。

父の存在と言葉はグラウンド上で注がれた恵みでした。この恵みのおかげで私の成績がどうであれ、父は私のことを愛してくれていることを改めて知ることができました。この時の出来事のおかげで、私は神様の恵みについてより深く知ることができました。私たちの弱さの中でさえ、神様の恵みは十分であることをパウロは私たちに教えてくれています。私たちは愛されるために完璧である必要はありません。私たちの価値は成功で測られるものではないからです。神様の恵みは、私たちを抱きしめ、勇気づけます。そして、私たちは神様のものであるという、ただそれだけの理由で、私たちは大切にされているのだと気づかせてくださいます。

讃美歌　　４９２　神のめぐみは

祈　　り　　主よ、私の弱さをカバーしてくださり感謝いたします。あなた様の愛は稼ぐものではなく、無償で与えられるものであることを知って、その愛の中で安らぐことができますようお助けください。イエス様のお名前によって。アーメン。

編集者　スティーブンス・レムリー

6月11日（水）

そ　　ん　　な　　時　　、　　何　　と　　言　　っ　　た　　ら

聖書朗読　マタイの福音書　１３：１８～２１

お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いに赦し合いなさい。
エペソ　４：３２

ひたすら悪い知らせばかりが聞こえてきた週を思い出しました。それは全く思いがけないことの連続でした。母に教わった通り、私は静かに耐え続けました。

そんな時、長年の友達にばったり会いました。彼は私に何があったのか優しく尋ねました。私が自分の身に起きていることを彼に伝え、彼は私の方に身を寄せ、そしてただ「エミリー、大変だったね」と言いました。

今まで読んだ、悲しむ者に同情することについての書籍やブログの内容が、目の前でよみがえりました。友人は私に自分が大変だった時の話をするわけでもなく、「時間が解決してくれるよ」といったよく聞く慰めの言葉を言うわけでもなく、また「ひどいね」と言ってすぐに去っていくわけでもありませんでした。

イエス様も同じでした。多くの場合、イエス様は穏やかに真実を示されました。イエス様はとても穏やかに苦しみにあっている人たちの言葉に耳を傾けられました。イエス様は彼らの痛みに注意を向けることも、また彼らを奇異な目で見ることもしませんでした。今日、あなたも、ただ優しく「大変でしたね」と言う機会があるかもしれません。それだけで十分です。自信を持ちましょう。この優しさが、イエス様がそうされたように、相手に希望を与えるからです。

讃美歌第二編　55　主イエスは死に勝ち

祈　　り　　イエス様、神に愛されている御方、今苦しみの中にいる人々を見落とさない目をお与えください。優しく寄り添うことのできる知恵を与え、私たちの優しさによって、彼らの心を満たすあなた様の安らぎを祈ることができるよう私たちをお導きください。イエス様のお名前によって。アーメン。

編集者　エミリー・レムリー



6月12日（木）

救いの神

聖書朗読 出エジプト記 2章

神は、私たちを暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。

コロサイ 1：13

神様は救い主です。神様は、モーセを呼び出し使命を与える前に、モーセを助け出しました。神様は、赤ちゃんモーセと逃亡者モーセを助け出しました。モーセはその非凡な人生の中で、幾度も危機一髪の場面に遭い、いかがわしい影響を受けました。もしかしたらワニに食べられていたかもしれません。もしかしたら身分の低い奴隷となっていたかもしれないし、エジプト女性に引っかけたのかもしれません。もしかしたらパロに迫害されたかもしれないし、ミデヤンの地で脱水で死んでいたかもしれません。でも、神様がモーセを救い出したので、どれ一つとしてモーセの身には起こりませんでした。

私たちにも同じ事が言えるのではないのでしょうか。クリスチャンのすべてが神様によって救い出されたわけではないと思いますか。しかし、そうではなりません。あなたの人生に紆余曲折や障害や困難、そして味方や敵がいたことでしょうか。また、あなたは間違っただ道を行きそうになったことがあるでしょうか。そして、『暗やみの圧制』から助け出され、神様の近くに引き戻されたのではないのでしょうか。

あなたは神様のしもべというだけでなく、神様の子、神様の約束すべての相続人なのです。主よ、私たちを助けて下さりありがとうございます。私たちはただただ、あなた様のために生きていきたいです。

讃美歌 526 主よ、わが主よ

祈り 親愛なるお父様、私たちを救い出してくださってありがとうございます。愚かな人生から、あなた様の愛と思いやりにあふれた人生に引き上げてくださった御子イエス様をほめたたえます。私たちはもはや暗やみに住んではいません。あなた様の驚くべきみ光を永遠に楽しむことができることに感謝いたします。イエス様のお名前によって。アーメン。

アラバマ州 ハンツビル / ジャニス・グリーンリーフ

6月13日（金）

神様を探しましょう

聖書朗読 出エジプト記 14：21～31

主よ。神々のうち、だれがあなたのような方がいるのでしょうか。だれかあなたのように、聖であって力強く、たたえられつつ恐れられ、奇しいわざを行うことができますでしょうか。

出エジプト 15：11

以前私は、今日の聖書の箇所、葦の海が二つに分かれ、イスラエルの人々が一列に並んでそこを歩いている姿を想像しました。そこは、今にも崩れそうにうねりを上げながらそそり立っているくすんだ水の壁、そこを超えると海に飲み込まれてしまうレッドゾーンです。

しかし今思うのは、水の中を通る道は、家族やグループと一緒に渡れるほど広かったのだろうかということです。空が見えるように、神は水を大きくせき止めたのかもしれないと思うのです。子供たちが、水の壁に棒を差し入れて模様や水しぶきを作って、顔を冷やしたり、虹を作ったりしていたかもしれないなど思うのです。

イスラエル人たちは、この自由への旅を、ただただ対岸を目指し、必死に渡り切らなければいけないものと感じていたのでしょうか。それとも、お互いに支え合い、ただ対岸を目指すだけでなく、この旅で神様を探し、もっと深く神様を知る機会を神様が彼らにお与えになった旅だったと思ったのでしょうか。暗い水の中を歩き続け、最後には彼らへの神様の愛がどれほど広く、長く、高く、そして深いものだったかを彼らは知ることができたのでしょうか。当時のことは私たちには分かりません。

しかし、今を生きる私たちは、人生の旅路において神様を探し求めて行きましょう。神様は必ず私たちに想像もつかない道を開いて下さいます。

聖歌 484 たたえよ救いぬしイエスを

祈り 主よ、思い返すと、いつもあなた様は私たちの人生のうちに働いてくださっています。旅の途上で注意して、私たちのうちに、そして私たちの周りで、あなた様のみわざを見ることができるようお助けください。イエス様のお名前によって。アーメン。



テキサス州 ラボック / レベッカ・タリー

6月14日（土）

忘 れ る こ と が な い よ う に

聖書朗読 申命記 8：1～9

気をつけなさい。私が、きょう、あなたに命じる主の命令と、主の定めと、主のおきてを守らず、あなたの神、主を忘れることがないように。 申命記 8：11

過去は重要ですか。我々の歴史を覚えておくことは重要なことでしょうか。現在と未来だけに価値があると言う人もいます。“過去は変えられないのに、なぜ過去を気にするのですか” それでは、結婚記念日を忘れてしまった夫に、過去のことを覚えていることは重要かどうか訊いてみてください。愛する人が記憶喪失にかかってしまっている人に訊いてみてください。記憶は大切です。愛する人を失った人に、過去は価値があるかどうか訊いてみてください。戦争の恐ろしさを経験している人は“決して忘れてはいけない” ことの重要性を誰よりも知っています。

クリスチャンにとっては、記憶はとても重要なことです。昔のヘブル人たちにとって、毎年、過越の祭を覚えることは、神の選ばれし民としてのアイデンティティを形成する基盤となっていました。神様を忘れること（まるで神は価値のないものであるかのごとく振る舞うこと）は私たちの罪の中で最も由々しきものであると、申命記は警告しています。

クリスチャンは、イエス様が最後の晩餐で言われた『わたしを覚えて、これを行いなさい』という御言葉を、教会での聖餐式のたびに繰り返し思い出します。毎週、主の食卓にあずかることで、私たちはイエス様の十字架上での犠牲を新たに覚え、それが私たちにとっていかに重要であるかを称えるのです。

讃美歌 494 わが行く道

祈 り 宇宙の創造主、父であり友人でもある方、今日、私たちはあなた様が私たちのために払ってくださった犠牲、神様にはふさわしくない死を決して忘れないようにします。あなた様の御前に頭を下げます。イエス様の御名前によって。アーメン

カリフォルニア州 オークパーク / アンディ・ウォール



6月15日（日）

人 生 が 順 調 の 時 は

聖書朗読 申命記 8：11～20

また、人の益を計り、良い行いに富み、惜しまずに施し、喜んで分け与えるように。 テモテ I 6：18

人生はいつも大変というわけではありません。ですから、もし人生が非常に順調なときは、クリスチャンとしてどうしたらよいのでしょうか。ここに良い時のクリスチャンとしての行いを7つ記します。

—完全な賜物すべての贈り主であるあなたの神を忘れないでいましょう。神様の戒めは、命を祝福し、永遠の命を持つために与えられました。

—成功や祝福を自分の手柄にしないように気を付けなさい。成功をもたらしたあなたの能力は元をたどればすべて神様の恵みからきたものです。

—賛美、礼拝、感謝を通して、いつも神様に感謝の気持ちを表しましょう。

—あなたの希望がどこに置かれているか注意深く観察しましょう。富に、または経済的不安定や恐れから逃れることに希望を置くのなら、私たちは分け与えるより貯め込んでしまいます。

—あなたの持っているものを良きもののために使いましょう。恵みを求めるのではなく、恵みを与える人になりましょう。

“順調なとき”こそ、良い行いをする絶好のチャンスです。

讃美歌 367 木工のわざをば

祈 り お父様、全ての良きものをくださる御方、順調な時こそ感謝の気持ちをもってあなた様の前にひれ伏します。神様のご加護を信じて、良い時も悪い時も人生を楽しみます。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 オークパーク / アンディ・ウォール

